

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 普通期水稻(中晩生品種)におけるトビイロウンカ の防除対策の徹底について



トビイロウンカの防除については、注意報第1号（令和元年8月1日付け）、注意報第2号（令和元年9月6日付け）、病害虫対策資料第10号（令和元年9月20日付け）を発表する等して、その対策の徹底を呼びかけているところです。

今回、県内各地の発生状況を調査したところ、圃場によっては、依然としてトビイロウンカの発生が多く、また、稲の坪枯れ被害が認められました。については、本虫の防除対策について、下記を参考に生産者への指導の徹底をお願いします。

### 記

#### 1. 発生概況

- (1) 10月4～8日に実施した普通期水稻の調査（36圃場）では、トビイロウンカの発生株率は54.1%（平年19.1%、前年0.0%）であり、平年及び前年より多かった（図1、表1）。
- (2) 地域によっては、既に多くの圃場で収穫が終了したところもあるが、中晩生品種を栽培している圃場では、本虫が確認されなかった圃場がある一方で、前回調査に比べ発生量が増加し、多発生となった圃場が認められた（表1）。また、圃場によっては、本虫の大量発生による坪枯れの発生が認められる。

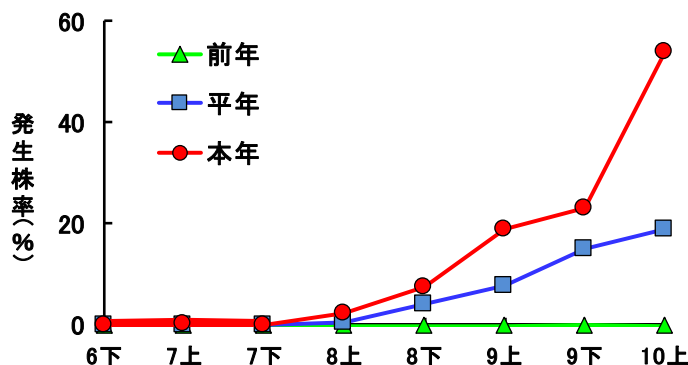


図1 普通期水稻でのトビイロウンカの発生推移

## 2．防除対策

- (1)田植え時期、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、トビイロウンカの発生状況は圃場毎に大きく異なるので、発生予測図(図2)を参考に、**必ず圃場の発生状況を確認**する
- (2)**中生品種**(ヒノヒカリ、さがびより等)において収穫適期を迎えた圃場では、**速やかに収穫**を行う。
- (3)**晩生品種**(ヒヨクモチ等)では、10月の気温は平年より高い<sup>注)</sup>と予想され、**第三世代虫の増殖による被害を生じる恐れ**があることから、今後も圃場の調査を継続し、**寄生密度が高い場合は、臨機防除**を実施する。  
(注：福岡管区気象台が10月3日に発表した九州北部地方の1か月の予報では、向こう1か月の平均気温は、高い確率70%とされている。)
- (4)本虫は株元に生息しているので、**薬剤は株元まで十分かかるよう**、丁寧に散布する。
- (5)薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、**収穫前使用日数及び使用回数等の農薬使用基準を遵守**する。

表1 普通期水稻におけるトビロウカの発生状況  
(2019年10月4～8日、25株調査)

調査地点 注1	寄生 株数	最高 注2 頭数		幼虫 の 齢	短 翅 雌 成 虫 確 認 ( — )	品 種	備 考
		成虫 頭	幼虫 頭				
佐賀市 東与賀町	1	3	1	1	中 齢 中 ～ 老 齢	さ が び よ り さ が び よ り	収 穫 済 み 収 穫 済 み
	2	20	3	5			
	3	-					
	4	-					
多久市	1	5	1	3	中 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢	さ が び よ り さ が び よ り さ が び よ り さ が び よ り	
	2	3	1	2			
	3	13	2	3			
	4	15	1	3			
小城市 三日月町	1	9	2	6	若 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢	さ が び よ り さ が び よ り さ が び よ り さ が び よ り	
	2	5	1	2			
	3	17	1	7			
	4	25	3	40			
鳥栖市	1	11	2	5	中 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢	さ が び よ り	
	2	4	1	2			
	3	17	6	8			
	4	25	8	10			
神崎市 千代田町	1	8	2	5	中 ～ 老 齢 若 、 老 齢 中 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢	ヒ ヨ ク モ チ  ヒ ヨ ク モ チ	
	2	25	5	150			
	3	25	8	80			
	4	25	1	15			
吉野ヶ里町	1	9	2	10	中 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢	ヒ ヨ ク モ チ ヒ ヨ ク モ チ ヒ ノ ヒ カ リ ヒ ノ ヒ カ リ	
	2	14	5	60			
	3	21	3	50			
	4	25	4	80			
唐津市	1	-					収 穫 済 み 収 穫 済 み 収 穫 済 み 収 穫 済 み
	2	-					
	3	-					
	4	-					
伊万里市	1	0			若 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢 若 ～ 老 齢	た ん ぼ の 夢 た ん ぼ の 夢 た ん ぼ の 夢 た ん ぼ の 夢	
	2	21	4	30			
	3	25	6	80			
	4	24	3	50			
武雄市	1	21	2	50	若 ～ 老 齢 若 、 老 齢 中 齢	さ が び よ り さ が び よ り	収 穫 済 み
	2	14	2	20			
	3	11	1	2			
	4	-					
白石町	1	0			中 ～ 老 齢 中 齢	ヒ ノ ヒ カ リ ヒ ノ ヒ カ リ	収 穫 済 み
	2	7	1	4			
	3	2		2			
	4	-	1				
鹿島市	1	10	1	5	中 ～ 老 齢 中 ～ 老 齢	さ が び よ り さ が び よ り	収 穫 済 み 収 穫 済 み
	2	18	4	6			
	3	-					
	4	-					
嬉野市	1	3	1	1	老 齢 中 ～ 老 齢		収 穫 済 み 収 穫 済 み
	2	7	1	1			
	3	-					
	4	-					
本年 発生株率(%)	54.1						
平年 発生株率(%)	19.1						
(平年比)	多						
前年 発生株率(%)	0.0						
(前年比)	多						

注1) 上記の各地点の圃場の結果が、必ずしも当該地域全体の発生状況を示すものではない。

注2) 25株調査のうち、最も発生が多かった株の最高頭数を示す。

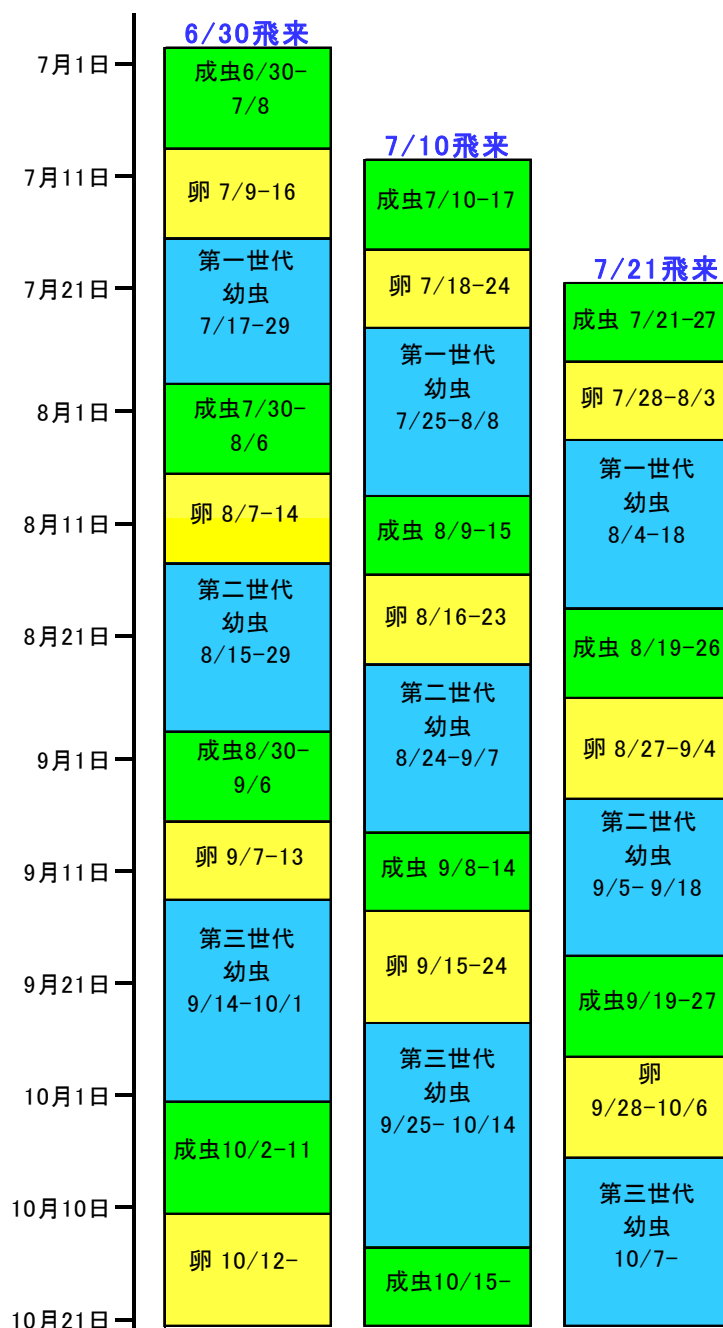


図2 トビイロウンカ各世代の発生予測(第9版、2019年10月8日作成)

1. 6月30日頃、7月10～11日頃(図では7月10日)、7月21日頃に飛来したウンカを起点とし、有効積算温度と佐賀市川副町の気温データ(第8版では9月18日までは実測値で以降は平年値、第9版では10月7日までは実測値で以降は平年値)を基に作成した。
2. 発生予測図(第7版)までは、6月6日頃の飛来虫も図示していたが、普通期水稻には6月6日飛来虫は定着していないと考えられることから、第8版以降では除外している。
3. 本虫に対しては、幼虫ふ化揃い期の防除効果が最も高い。しかし、本年は断続的に飛来がみられたことから、飛来波ごとの幼虫の出現時期は異なる。
4. 田植え時期に加え、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、発生状況は圃場毎に大きく異なるので、必ず圃場の発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 2205 佐賀市川副町南里 1088  
 TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5042